

# CASBEE<sup>®</sup> とっとり

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2008年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCB\_2008(v.3.2)

## 評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	いきいきケアホーム澁町ハーバービ	階数	地上3F
建設地	鳥取県米子市澁町三丁目76番地他	構造	S造
用途地域	都市計画区域(市街化区域)	平均居住人員	65人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年3月 予定	評価の実施日	2011年9月5日
敷地面積	3,595㎡	作成者	坂本浩志
建築面積	886㎡	確認日	2011年9月5日
延床面積	2,509㎡	確認者	坂本浩志

外観ベース等  
 (内容詳細は付添資料  
 シートの評価を参照してください)

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★ B': ★★ C: ★

### 2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境  
Q2 サービス性能  
Q3 室外環境(敷地内)  
LR1 エネルギー  
LR2 資源・マテリアル  
LR3 敷地外環境

### 2-3 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

建設: 108%  
 参考値: 100%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・㎡)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.3

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.8

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.1

LR のスコア = 2.8

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.7

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.2

3 設計上の配慮事項		その他
総合 オール電化建物とし、オール電化厨房や、給湯設備にもエコキュートを採用するなど、環境負荷の低減を意識した建物としている。		0
Q1 室内環境 居住エリア、共用エリアをゾーニングするなど、建物利用の特性使用条件を考慮し、適切な計画とした。	Q2 サービス性能 居住エリア、共用エリアをゾーニングするなど、建物利用の特性使用条件を考慮し、適切な計画とした。	Q3 室外環境(敷地内) 建物を隣地より極力離れた位置にするなど、周辺環境を考慮した。
LR1 エネルギー 建物外皮性能の向上を意識した計画とした。	LR2 資源・マテリアル 節水型器具の採用などを意識した計画とした。	LR3 敷地外環境 建物を隣地より極力離れた位置にするなど、周辺環境を考慮した。

4 重点項目		
重点項目	得点	取組み度
県産材利用の推進	点 / 20点	
鳥取県認定グリーン商品利用の推進	点 / 25点	
自然エネルギー変換利用の推進	点 / 25点	
敷地内緑化の推進	15点 / 25点	
合計	15点 / 95点	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 ■LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい